

株式会社内野ケルン

超精密ワイヤーカット導入による 金型の加工精度及び生産効率向上確立事業

本事業は、デジタルカメラ等に組み込まれる「プリント基板」の金型の加工精度及び加工時間と加工効率の向上を図る為、超精密ワイヤーカット加工機を導入し課題解決を図る。



バイトホルダー

事業のきっかけや目的

フィルム式カメラからデジタルカメラへの移行も進み、ウェアラブル式カメラも発売される中、短納期で、高精度な部品を加工する技術が要求されてきた。保有設備では精密加工対応ができず製作を断念してきたが、最先端設備を導入することで加工時間が短縮でき、同業他社が加工できない製品も当社技術と最先端設備を組み合わせで取り込めると判断している。

事業の取り組み内容と成果

高い精度要求に対し既存設備では要求を満たせないため、新型のワイヤーカット加工機を導入した。導入の機械は、従来のフライス、旋盤では加工出来ない複雑高精度の部品加工が行える最先端の加工機である。結果、精度が格段にアップし、大幅な作業時間の短縮が可能となった。

事業化に向けての今後の取り組み

1ミクロン保証の超高精度ワイヤーカット加工機を導入し、近年高まってきた高精度化への対応を実現。現状で主流の2ミクロン保証加工にはどうしても不安が残る。当社の精密加工は大いにアピールできており、お客様からも好評を得ている。



今回導入した、高精度ワイヤーカット加工機



ストリッパーホルダー



パンチホルダー

S・U・Z・U・I・S・H・I・N

地球環境保全と事業活動の両立

昭和57年4月、川内原子力発電所の建設用フライス加工の仕事からスタートし、その後はMC、NCフライスによる精密加工専門としてお客様より評価をいただいて参りました。近年においては金型パーツ加工やメンテナンスにも力を入れております。精密機械の部品加工、金型部品加工、機械組立等の仕事を通じて、地球環境保全と事業活動の両立を基本理念として、地域社会への貢献に努めます。

企業 DATA

1982年4月1日、出水市新町で内野製作所として創業。1986年、出水市上の原（現・美原町）に移転。有限会社内野製作所に改組。1988年、出水市米ノ津東下鯖町に移転。株式会社内野ケルンに改組。2008年、出水市緑町の沖田工業団地に移転。現在に至る。



会社外観

事業者	株式会社内野ケルン
代表者	代表取締役 内野 正
設立年月日	昭和57年4月1日
所在地等	〒899-0202 出水市緑町50番12号 TEL 0996-68-0208 FAX 0996-68-0209 E-mail utino-kerun@po.synapse.ne.jp URL http://www.synapse.ne.jp/utino-kerun/index.html
資本金額	2,000万円
従業員	39名
業種	金属製品製造業